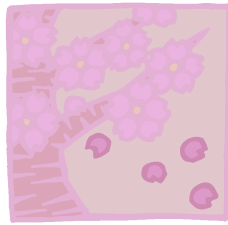


角野公民館 だより



ためになる“ことば”シリーズ
失敗は終わりではない。その失敗を反省し成功に結びつけば良い。 — 土光 敏夫 —
転んでも立ち上がることができるのは、目的意識があるからだ。目的がなければ反省は生まれない。



新年度が始まります

平素は、公民館活動に格別のご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、今月号は地域の皆様に角野公民館がどういったところなのかをお知らせいたします。

1 公民館の場所をご存知ですか？

新居浜市中筋町二丁目4番24号
(角野小学校前 図書館角野分館を併設)
TEL・FAX番号は欄外をご覧ください。
E-mail / sumikou@city.niihama.ehime.jp



2 開館時間、休館日をご存知ですか？

午前9時～午後9時半(国民の休日と年末年始は休館)

3 公民館だよりをご覧頂いていますか？

毎月1日発行で、公民館や地域の情報などを掲載しています。(自治会加入世帯に配布していますが、別途公民館でも配布しています。)

4 公民館施設を利用したことがありますか？

各種団体やグループ・サークルなどに貸館を行っています。(使用を希望される日の3日前までに使用許可願をご提出ください。)

5 公民館行事に参加したことがありますか？

生涯学習事業やいきいきプラン推進事業を行っています。(平成20年度角野公民館生涯学習講座の内容や日時については、5月にご案内を予定しています。)

6 その他

- ・角野小・中学校体育施設開放事業を行っています。
- ・災害時の避難所に指定されています。

※詳細については、公民館へお問い合わせください。また、公民館へご意見やご要望などございましたらお気軽にご連絡ください。

にいはま金毘羅まつり

日時：4月15日(火) 10:00～15:00
場所：瑞応寺
内容：瑞応寺探検隊スタンプラリー、郷土芸能別子銅山せつとう節上演など各種催し
駐車場：住友金属鉱山社宅跡地
問合せ：にいはま金毘羅まつり実行委員会
事務局 社団法人新居浜市観光協会
☎32-4028

燈火祭



日時：4月14日(月) 19:00～21:00
※雨天中止
瑞応寺の伝統行事「春の金毘羅大祭」の前夜祭に「燈火祭」を開催いたします。本殿前に、暖かなろうそくの火がたくさん灯ります。

平成20年 春の全国交通安全運動

- 【期間】 4月6日(日)～4月15日(火)
【スローガン】 『交差点 早めの合図と ゆずり愛』
【運動の基本】 「子どもと高齢者の交通事故防止」
【運動重点】 ○全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
○自転車の安全利用の推進
○飲酒運転の根絶
【愛媛県の運動重点】 交差点の交通事故防止



ご入園、ご入学、ご進学、ご就職
おめでとうございます



4月の行事予定

2日(水)	食生活改善推進協議会活動日	8:30～14:00
3日(木)	食生活改善推進協議会活動日	8:30～14:00
〃	老人クラブ役員会	9:30～12:00
5日(土)	老人クラブ会長会	9:30～12:00
15日(火)	民生児童委員会	19:00～21:00
16日(水)	角野分館おはなし会(幼児対象)	14:00～14:30
26日(土)	老人クラブ女性部踊り教室	13:00～15:00

16日(水)の食改は宮喜自治会館です。

暮らしの流れ - 角野ほっつき歩き - ①

清瀧Ⅲ

～ 前号からの続き ～

さて、この清瀧にも多くの民話や伝説が残されています。例えば、「清姫物語」、「鳴美淵に響く平義盛の横笛」、「龍川と大蛇丸」などです。

「清姫物語」は、山の精と川の竜神がお互いの美しさを競い合った話です。「平義盛の横笛」は、平家の残党が須領に住み、笛の練習をして、その美しい音色が足谷川の「鳴美淵」まで鳴り響いたとの話で、この笛が祭壇に祀られていましたがいつの間にか無くなり、現在は知る人も少なくなつたとのことです。「大蛇丸」とは刀の名前で、孝行息子の出世話です。この話は、冊子「角野の民話と伝説」（平成15年2月発行 角野の民話・地名掘り起こし実行委員会）に書かれていますので、機会があれば読んでみてください。その他の伝説として、松村虎馬之助の法力による雨

乞いの話は、以前の角野公民館だよりで「須領」を書いたときに記述してあります。また、須領に住んでいた鹿蔵という男が、安政5年7歳の時、この虎馬之助の手子として同居し、色々と手伝いをしていましたが、虎馬之助は大変歩くのが速く、天狗が空を飛んでいるように走ったといいます。その証拠に笹ヶ峰に石鎚大権現をお祀りするため小さなお堂を造り、灯明をあげるため一枚刃の下駄を履き、毎日簡単に往復していたと、鹿蔵が驚いて話していたとのことです。

残念ながら昨年からの清瀧への進入路は、台風による崖の崩落で通行止めとなっていますので、進入路の手前か東平への登山道（車道）の中腹からでないと清瀧の遠景を見ることはできません。

→ 「龍川と大蛇丸」より



（記・広報部 谷屋）
（加ト・故 篠原 信二）

第41回にはま春の市民文化祭

第41回にはま春の市民文化祭を次の日程で行います。ぜひご来場ください。

■ 芸能の部

- 第1部 4月13日（日） 13:00～ 市民文化センター大ホール 民謡・大正琴など
- 第2部 4月19日（土） 13:00～ 市民文化センター大ホール 詩吟・バレエなど
- 第3部 4月20日（日） 13:00～ 市民文化センター大ホール 舞踊・民謡など
- 第4部 4月27日（日） 14:00～ 市民文化センター大ホール 市民吹奏楽団

入場無料（整理券あり）

■ 美術の部

- 期 間 前期 4月12日（土）～17日（木） 洋画・版画・陶芸・写真・商業デザイン・華道
- 後期 4月19日（土）～24日（木） 書道・日本画・美術工芸・彫塑立体・文芸

場 所 新居浜市郷土美術館

※4月18日（金）は作品入れ替えのため、展示はありません。



角野公民館からはフォークダンスサークル（新居浜トワール）さんが4月13日（日）の第1部にご出演されます。皆様の声援をよろしくお願いいたします。

我が家の宝物



徳島県三好市西祖谷にある鶏足山（標高955m）に初めて登ったのは、今から20年前（1988年8月15日）でした。それは、笹ヶ峰の丸山壮で東京にお住まいの田中三郎さん（60歳から15年かけて日本三百名山を踏破）と出会い、四国百山踏破を決意した翌年のことです。

お盆で西祖谷の女房の里に帰ったその日、義父の案内で親戚の人たちと鶏足山に登りました。その昔、この山は行場と言われていたようです。我が家の宝物である観音様にそっくりな自然石は、偶然にもこの時の山行の途中、ワサビが自生している沢の近くの登山道で拾ったものです。



↑ まさに観音様です

頂上近くには5mから35mの鎖場が数箇所あり、なかなかの難所であったことを記憶しています。それから20年、この石は今でも大切に我が家の床の間に置いてありますが、私は石との出会い、人との出会い、この世の全てのものとの出会いを大切にするようにしています。

その後、私たち家族は1997年12月7日に高知県馬路村にある天狗森（1295m）に登り、四国百山を踏破しました。

（西連寺町 藤田 俊治）